

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	神林学童保育所	評価対象年度	令和元年度
指定管理者名	NPO法人希楽々	所管課	神林支所地域振興課
指定期間	平成29年4月1日～令和2年3月31日(3年間)	評価者(課長)	石田秀一

①事業実績

利用実績	①学童保育所 延べ利用人数 10,097人 日平均 35.3人 ②子育て支援センター 延べ利用人数(子+親) 10,405人 日平均(子+親) 35.5人(R2.2.29から休所)
サービス向上の取り組み	①学童保育所 放課後の居場所としての充実したサービスの提供 ②子育て支援センター 子育て親子の交流の場の提供、相談支援や魅力ある事業の実施

②管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (H29年度)	前年度 (H30年度)	当該年度 (R1年度)	合計	備考
収入	指定管理料	19,536	19,446	21,099	60,082	基本協定額:60,082
	利用料金	2,772	2,892	3,179	8,843	減免額:308
	自主事業収入	138	128	128	394	参加費121、自己資金7
	その他	7	3		10	子育て支援センター事業参加費
	計	22,453	22,469	24,406	69,329	
支出	管理経費	20,982	20,891	22,956	64,829	
	(うち人件費)	15,066	15,201	16,935	47,201	学童分12,090 子育て分4,845
	(うち光熱水費)	1,031	1,150	1,173	3,353	灯油、ガソリン、LPガス、電気、上下水道
	(うち修繕費)	128	135	105	368	建物53、物品52
	(うち委託料)	1,642	1,522	1,750	4,913	運転業務、児童送迎業務、消防設備点検
	自主事業費	138	128	128	394	材料費、交通費等
計	21,120	21,018	23,084	65,222		
差引	1,333	1,451	1,322	4,106		

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	3	6.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由)					
利用者の立場で事業を計画し実施していると認める。傾聴・助言・支援などが適切に行われている。研修会への積極的な参加や直営施設との意見交換によりスタッフの資質の向上に努めている。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	4	6.4	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	5	4.0	
	利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか				
(評価理由)					
保護者に積極的に話しかけ、要望等を直接伺うことにより適切に把握し、業務に反映している。また、直営施設では実施できないような魅力的で学童保育所での生活の充実が図れる行事を計画実施し、利用者の好評を得ている。指定管理者事業者のHPや告知端末を活用して積極的に情報発信している。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	3	4.8
指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか					
(評価理由)					
職員で対応可能な作業等については安易に業者委託をせず、これまでの経験を生かした工夫によって効果的に取り組んでいる。同種の直営施設との差異の無いよう処遇改善にも適切に取り組んでおり、職員のモチベーションの維持向上に努力している。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	3	2.4
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	3	2.4
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	3	2.4
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守る事ができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	3	2.4
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	3	2.4
	(評価理由) 加配の人員確保が困難な状況で、職員が連携し適切な管理体制となっていると認める。火災避難訓練の実施やAED講習を受講し、万一の時の備えている。なお、報告が時宜を得ず不適切な時もあるようなので、現場内での報告体制の強化が必要である。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	3	4.8
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	3	2.4
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	3	2.4
	(評価理由) 屋内外の設備や遊具の目視点検を定期的に行い適切に対処している。また、子育て支援センターで使用している玩具の消毒については、非常に数が多く手間がかかるが適切に実施されている。				

④総合評価

評価点合計	70.0	評価ランク	B
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

・学童保育所においては、各児童の特性を把握し児童に合わせ適切に対応している。特別な配慮が必要と思われる児童に対しては、加配職員の確保困難の中で児童支援員が連携し適切に運営ができています。また、小学校とも連携しながら児童の生活の様子などの情報共有を行っている。生活面では興味深い事業を展開し飽きのこない生活プログラムを提供し、学童保育所での生活の充実が図られており、児童や保護者からも好評であり適切に運営されていると認めます。

・子育て支援センターにおいては、開館日や利用時間、施設設備、職員の対応について多くの利用者が満足し、また利用したいなど好評です。多様な自主事業の実施により好評を得ており、適切に運営されていると認めます。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

さらなるサービスの向上を目指し、管理運営体制の工夫を重ねてよりよい事業を立案し提供することで、利用者や地域から信頼され愛される施設となることを期待します。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数	評価基準
5	1.0	特に優れた取り組み、対応が行われている。特に成果が現れている。仕様書等より特に優れた提案がなされ実施している。
4	0.8	優れた取り組み、対応が行われている。成果が現れている。仕様書等より優れた提案がなされ実施している。
3	0.6	適切な取り組み、対応が行われている。適切に仕様書等のとおり実施している。
2	0.4	一部改善が必要な取り組み、対応がある。仕様書等に規定されている項目を一部行っていない。
1	0.2	全面的な改善が必要な取り組み、対応がある。全面的に仕様書等に規定されている事業を行っていない。

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク	区分	評価基準
S	95.0以上	管理施設運営状況が、特に優れている。
A	80.0以上95.0未満	管理施設運営状況が優れている。
B	60.0以上80.0未満	適正な管理施設運営状況である。
C	60.0未満	管理運営状況に改善の必要性がある。